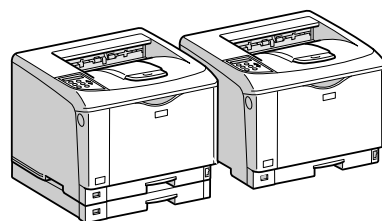
InfoPrint

1736J/1756J

ソフトウェアガイド

安全に正しくお使いいただくために、操作の前には必ずプリンター本体同梱の『安全に正しくお使いいただくために』をお読みください。

はじめに

このたびは本製品をお買い上げいただき、ありがとうございます。
この使用説明書は、製品の正しい使い方や使用上の注意について記載してあります。ご使用の前に、この使用説明書を最後までよくお読みの上、正しくお使いください。また、この使用説明書が必要になったとき、すぐに利用できるように保管してください。

商標

- AppleTalk、Macintosh、TrueType は、米国および他の国々で登録された Apple Computer, Inc. の登録商標または商標です。
- BMLinkS は、社団法人 ビジネス機械・情報システム産業協会の登録商標です。
- EPSON、ESC/P は、セイコーエプソン株式会社の登録商標です。
- IBM、DOS/V は米国 IBM Corporation の登録商標です。
- Microsoft、Windows、WindowsNT、MS-DOS は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。
- NEC は、日本電気株式会社の登録商標です。
- NetWare は、米国 Novell, Inc. の登録商標です。
- PC-98NX シリーズは、日本電気株式会社の製品です。
- PC-PR201H シリーズは、日本電気株式会社の商標です。
- その他の製品名、名称は各社の商標または登録商標です。

・ *Windows® 95 の製品名は、Microsoft® Windows® 95 です。
・ *Windows® 98 の製品名は、Microsoft® Windows® 98 です。
・ *Windows® Me の製品名は、Microsoft® Windows® Millennium Edition (Windows Me) です。
・ *Windows® 2000 の製品名は以下のとおりです。
Microsoft® Windows® 2000 Professional
Microsoft® Windows® 2000 Server
Microsoft® Windows® 2000 Advanced Server
・ *Windows® XP の製品名は以下のとおりです。
Microsoft® Windows® XP Home Edition
Microsoft® Windows® XP Professional
・ *Windows Server® 2003 の製品名は以下のとおりです。
Microsoft® Windows Server® 2003 Standard Edition
Microsoft® Windows Server® 2003 Enterprise Edition
Microsoft® Windows Server® 2003 Web Edition
・ *Windows Server® 2003 R2 の製品名は以下のとおりです。
Microsoft® Windows Server® 2003 R2 Standard Edition
Microsoft® Windows Server® 2003 R2 Enterprise Edition
・ *Windows NT® 4.0 の製品名は以下のとおりです。
Microsoft® Windows NT® Server 4.0
Microsoft® Windows NT® Workstation 4.0

平成書体は、（財）日本規格協会と使用契約を締結し使用しているものです。他のフォントと同様、フォントとして無断複製することは禁止されています。

複製、印刷が禁止されているもの

本機を使って、何を複製、印刷してもよいとは限りません。法律により罰せられることもありますので、ご注意ください。

1.複製、印刷することが禁止されているもの
（見本と書かれているものでも複製、印刷できない場合があります。）
・紙幣、貨幣、銀行券、国債証券、地方債券など
・日本や外国の郵便切手、印紙
（関係法律）
・紙幣類似証券取締法
・通貨及証券模造取締法
・郵便切手類模造等取締法
・印紙等模造取締法
・（刑法 第１４８条 第１６２条）

2.不正に複製、印刷することが禁止されているもの
・外国の紙幣、貨幣、銀行券
・株券、手形、小切手などの有価証券
・国や地方公共団体などの発行するパスポート、免許証、許可証、身分証明書などの文書または図画
・個人、民間会社などの発行する定期券、回数券、通行券、食券など、権利や事実を証明する文書または図画
（関係法律）
・刑法 第１４９条 第１５５条 第１５９条 第１６２条
・外国ニ於テ流通スル貨幣紙幣銀行券証券偽造変造及模造ニ関スル法律

3.著作権法で保護されているもの
著作権法により保護されている著作物（書籍、音楽、絵画、版画、地図、図面、映画および写真など）を複製、印刷することは、個人または家庭内その他これに準ずる限られた範囲内で使用する目的で複製、印刷する場合を除き、禁止されています。

* 画面の表示内容やイラストは機種、オプション、機能の設定によって異なります。

マークについて

本書で使われているマークには次のような意味があります。

⚠危険

※安全上のご注意についての説明です。
この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
『ハードウェアガイド』「安全に正しくお使いいただくために」にまとめて記載していますので、必ずお読みください。

⚠注意

※安全上のご注意についての説明です。
この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。
『ハードウェアガイド』「安全に正しくお使いいただくために」にまとめて記載していますので、必ずお読みください。

重要

機能をご利用になるときに留意していただきたい項目を記載しています。紙づまり、原稿破損、データ消失などの原因になる項目も記載していますので、必ずお読みください。

補足

機能についての補足項目、操作を誤ったときの対処方法などを記載しています。

参照

説明、手順の中で、ほかの記載を参照していただきたい項目の参照先を示しています。
各タイトルの一番最後に記載しています。

[ ]

キーとボタンの名称を示します。

『 』

本書以外の分冊名称を示します。

8. Windows の補足情報

コマンドの使用についての説明です。

Windows からのファイル直接印刷

Windows でコマンドを使用したファイル直接印刷の方法についての説明です。

重要

- この機能はネットワーク接続をしているときに使用できます。
- この方法で印刷できるファイルは、本機が搭載しているエミュレーション用に作られたファイルです。エミュレーション用に作られたファイルとは、たとえば PostScript 3 用のポストスクリプトファイルなどです。
- 搭載していないエミュレーションのファイルは印刷できません。

♦ Windows 98/Me

ftp を使って印刷できます。

♦ Windows 2000/XP、Windows Server 2003/2003 R2

lpr、rcp、ftp を使って印刷できます。

補足

- sftp コマンドをご使用の場合は、クライアントソフトが必要です。クライアントソフトは、ssh ver2 に準拠した物をご使用ください。

参照

- P.11 「お使いになる前に」

セットアップ

Windows からファイル直接印刷するための、環境設定の方法の説明です。

1 本機の操作部でTCP/IPプロトコルを有効にし、IPアドレスなどTCP/IPに関するネットワーク環境を設定します。

本機の TCP/IP プロトコルは、工場出荷時は有効に設定されています。

2 Windows に TCP/IP プロトコルを組み込み、ネットワーク環境を設定します。

ネットワークに関する設定内容はネットワーク管理者の方に確認してください。

3 Windows 2000/XP、Windows Server 2003/2003 R2 で lpr を使って印刷する場合は、ネットワークソフトウェアとして「UNIX 用印刷サービス」を組み込みます。

補足

- DHCPを使用して本機のIPアドレスを設定するときは、「DHCPを使用する」を参照してください。
- 本機の指定にホスト名を使用するときは、「IPアドレスの代わりにホスト名を使用する」を参照してください。

参照

- P.292 「DHCPを使用する」
- P.254 「IPアドレスの代わりにホスト名を使用する」

IPアドレスの代わりにホスト名を使用する

ホスト名が定義されていると、IPアドレスの代わりにホスト名を使ってプリンターを指定することができます。使用するホスト名はネットワーク環境により異なります。

DNSを使用している場合

DNSサーバ上のデータファイルに設定したホスト名を使用します。

DHCPを使用してプリンターのIPv4アドレスを設定している場合

システム設定リストの「プリンター名」に印刷された名前をホスト名として使用します。

参照

- P.141 「システム設定リストを印刷する」

その他の場合

印刷を行うコンピュータのhostsファイルに、ネットワークプリンターのIPアドレスとホスト名を追加します。追加のしかたはOSにより異なります。

■Windows 98/Meの場合

1. **¥WINDOWS¥HOSTS.SAMを同じディレクトリにコピーし、名前をHOSTS（拡張子を付けません）にします。**
2. **作成した¥WINDOWS¥HOSTSファイルをメモ帳などで開きます。**

8

3 hosts ファイルに IP アドレスとホスト名を以下の形式で追加します。

```
192.168.15.16  host  # NP
```

192.168.15.16 は IPv4 アドレス、host はプリンターのホスト名、# から行末まではコメントです。それぞれの項目をスペースかタブで区切り、1 行で入力します。

4 ファイルを上書き保存します。

■Windows 2000/XP、Windows Server 2003/2003 R2 の場合

1 メモ帳などで hosts ファイルを開きます。

hosts ファイルは以下の場所にあります。

Win2000

```
¥WINNT¥SYSTEM32¥DRIVERS¥ETC¥HOSTS
```

WinXP/2003

```
¥WINDOWS¥SYSTEM32¥DRIVERS¥ETC¥HOSTS
```

2 hostsファイルにIPv4とIPv6のアドレスとホスト名を以下の形式で追加します。

IPv4 の場合

```
192.168.15.16  host  # NP
```

192.168.15.16 は IPv4 アドレス、host はプリンターのホスト名、# から行末まではコメントです。それぞれの項目をスペースかタブで区切り、1 行で入力します。

IPv6 の場合

```
2001:DB::100  host  #  NP
```

2001:DB::100 は IPv6 アドレス、host はプリンターのホスト名、# から行末まではコメントです。それぞれの項目をスペースかタブで区切り、1 行で入力します。

3 ファイルを上書き保存します。

補足

- IPv6 環境下の Windows Server 2003/2003 R2 でホスト名をご使用の場合は、外部の DNS サーバでホスト名の解決を行ってください。hosts ファイルはご使用になれません。
- IPv6 対応の OS は、Windows XP SP2 と Windows Server 2003/2003 R2 です。

印刷方法

lpr、rcp、ftp を使った印刷方法の説明です。
コマンドはコマンドプロンプト ウィンドウで入力します。各 Windows でのコマンドプロンプトの場所は次のとおりです。

♦ **Windows 98 の場合：**
［スタート］-［プログラム］-［MS-DOS プロンプト］

♦ **Windows Me の場合：**
［スタート］-［プログラム］-［アクセサリ］-［MS-DOS プロンプト］

♦ **Windows 2000 の場合：**
［スタート］-［プログラム］-［アクセサリ］-［コマンドプロンプト］

♦ **Windows XP、Windows Server 2003/2003 R2 の場合：**
［スタート］-［すべてのプログラム］-［アクセサリ］-［コマンドプロンプト］

補足

・印刷するファイルのデータ形式とプリンターのエミュレーションモードを合わせてください。
・「print requests full」のメッセージが表示されたときは、印刷要求がフルの状態です。印刷要求が少なくなってから印刷し直してください。各コマンドを使用したときの最大セッション数は次の通りです。
　・lpr：10
　・rcp：5
　・ftp：3
・ファイル名はコマンドを実行するディレクトリからのパスを含めた形で入力してください。
・コマンドの中で指定する「オプション」はプリンター固有のオプションで、内容はUNIXから印刷する場合と同様です。
・エミュレーションによってはエミュレーション固有のオプションも用意されています。それらのオプションについては各エミュレーションの使用説明書を参照してください。

参照

・P.271 「セットアップ（UNIX）」

lpr

♦ **IP アドレスを使ってプリンターを指定する場合**
c:> lpr -Sプリンターのアドレス ［-Pオプション］［-ol］¥パス名¥ファイル名

♦ **IP アドレスの代わりにホスト名を使用する場合**
c:> lpr -Sプリンターのホスト名 ［-Pオプション］［-ol］¥パス名¥ファイル名
バイナリーファイルを印刷する場合は -ol（小文字の O と、小文字の L）オプションを付けてください。

ホスト名が host のプリンターに、C:¥PRINT ディレクトリにある、名前が file1 の PostScript ファイルを印刷する場合のコマンド例は次のとおりです。

```
c:> lpr -Shost -Pfiletype=RPS -ol C:¥PRINT¥file1
```

rcp

あらかじめ hosts ファイルにプリンターのホスト名を登録しておきます。

c:> rcp ［-b］¥パス名¥ファイル名 ［¥パス名¥ファイル名...］ プリンターのホスト名：［オプション］

・ファイル名には「*」や「?」のワイルドカードを使用できます。
・バイナリーファイルを印刷する場合は -b オプションを付けてください。

ホスト名が host のプリンターに、C:¥PRINT ディレクトリにある、名前が file1 と file2 の PostScript ファイルを印刷する場合のコマンド例は次のとおりです。

```
c:> rcp -b C:¥PRINT¥file1 C:¥PRINT¥file2 host:filetype=RPS
```

補足

- hosts ファイルに本機のホスト名を登録する方法について詳しくは、「IP アドレスの代わりにホスト名を使用する」を参照してください。

参照

- P.254 「IP アドレスの代わりにホスト名を使用する」

ftp

印刷するファイル数に応じて put または mput コマンドを使います。

♦ 印刷するファイルが 1 つの場合

```
ftp> put ￥パス名￥ファイル名 [オプション]
```

♦ 印刷するファイルが複数の場合

```
ftp> mput ￥パス名￥ファイル名 [￥パス名￥ファイル名 ...]
```

ftp を起動してから印刷するまでの手順は次のようになります。

1 本機の IP アドレス（または hosts ファイルに設定したプリンターのホスト名）を引数にして ftp コマンドを起動します。

```
% ftp 本機のアドレス
```

2 ユーザー名とパスワードを入力し、[Enter] キーを押します。

```
User:
Password:
```

ユーザー名とパスワードは管理者にお問い合わせください。

3 バイナリーファイルを印刷するときは、ファイルのモードをバイナリーモードにします。

```
ftp> bin
```

4 印刷するファイルを指定します。

以下は C:¥PRINT ディレクトリにある、file1 という名前の PostScript ファイルを印刷する例と、file1 と file2 を印刷する例です。

```
ftp> put C:¥PRINT¥file1 filetype=RPS
ftp> mput  C:¥PRINT¥file1 C:¥PRINT¥file2
```

5 ftp を終了します。

```
ftp> bye
```

補足

- ファイル名に「=」、「,」、「_」および「;」は使用できません。ファイル名をオプション文字列と判断してしまいます。
- mput コマンドではオプションを指定できません。
- pwd コマンドではオプションを指定できません。
- mput コマンドではファイル名に「*」や「?」のワイルドカードを使用できます。
- バイナリーファイルをアスキーモードで印刷すると、印刷データが変更され正しく印刷されないことがあります。

8

- C:¥PRINTディレクトリにある、file1という名前のファイルをRPDLで印刷する例
```
ftp> put C:¥PRINT¥file1 filetype=R00
```
- C:¥PRINTディレクトリにある、file1とfile2という名前のファイルを印刷する例
```
ftp> mput C:¥PRINT¥file1 file2
```

8